

都市計画道路戸畑枝光線の有料化の検討について（報告）

当初有料道路として計画された戸畑枝光線は、諸般の事情により無料道路として街路事業で整備を進めてきたが、近年の北九州高速道路を取り巻く環境を鑑み、再度、有料道路として、街路事業と有料道路事業の合併施行方式で計画できないか、検討に着手するもの。

1 戸畑枝光線の経緯

- 平成 5 年 有料自動車専用道路として戸畑大谷線（L=7.0km）を都市計画決定
- 平成 1 0 年 北九州高速 5 号線として北九州高速道路整備計画へ組み入れ
- 平成 1 3 年 北九州高速 5 号線のうち枝光～大谷間（L=2.4km）を整備
- 平成 1 6 年 北九州高速 4 号線大規模補修や小倉東 I C 接続等の事業が急務となり、やむを得ず戸畑～枝光間（L=4.4km）を北九州高速道路整備計画から削除
一方で、戸畑大谷線（北九州高速 5 号線）の戸畑～枝光間が本市の成長戦略や都市の強靱化に大きく関わることから、無料の自動車専用道路として整備する方針を決定
- 平成 2 2 年 戸畑大谷線（戸畑～枝光間）を戸畑枝光線として都市計画決定
（戸畑枝光線街路事業 1 期：H23 年度着手 2 期：H26 年度着手）

2 北九州高速道路を取り巻く環境の変化

- 周辺幹線道路の進展（国道 3 号黒崎 B P、下関北九州道路）
- スペースワールド跡地への大型商業施設の進出（高速道路利用増加の見込み）

3 戸畑枝光線有料化のメリット

- 維持管理水準の向上による安全性・走行性の確保
- 市の街路事業費、道路維持管理費の縮減

4 スケジュール（予定）

- 令和 3 年 1 2 月 9 日 建設建築委員会 報告
- 令和 4 年 1 月～ 有料化有識者会議の開催【学識者・利用者等との議論】
建設建築委員会 報告【有識者会議の結果について】

【位置図】



【平面図】

